

# 校友会報

No. **06**  
2020.10 発行



男子バレーボール部



工学部



宇和町れんげ畑

発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階  
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp  
webサイト:http://koyu.ehime-u.jp/



# 校友会の主な 事業活動

2019年10月～2020年9月

## CONTENTS

### 2019年

10月	子規俳句カレンダー2020 発行
10月	校友会報 第5号 発刊
10月19日(土)	首都圏支部役員会
11月11日(月)	愛媛大学開学70周年及び第10回ホームカミングデイ 合同記念式典・合同祝賀会
12月 6日(金)	関東・関西・中国地区就職学生との懇談会
12月 7日(土)	近畿支部役員会

### 2020年

1月18日(土)	首都圏支部役員会
1月27日(月)	「地域定着促進特別奨学金」交付式
2月 8日(土)	中国支部役員会
2月29日(土)	就職支援事業(大阪) 就活学生との情報交換会【開催中止】
3月 7日(土)	就職支援事業(東京) 就活学生との情報交換会【開催中止】
4月 4日(土)	首都圏支部役員会【書面審議】
4月18日(土)	近畿支部役員会【書面審議】
5月	新社会人交流会「全員集合 in 東京2020」【開催中止】
5月	新社会人交流会「全員集合 in 大阪2020」【開催中止】
5月	新社会人交流会「全員集合 in 広島2020」【開催中止】
6月13日(土)	近畿支部総会・懇親会【開催延期】
6月16日(火)	校友会総務・企画専門委員会
7月11日(土)	首都圏支部総会・懇親会【開催延期】
7月22日(水)	校友会理事会【書面審議】
7月29日(水)	「学生団体活動援助金」交付式
9月12日(土)	中国支部役員会【書面審議】

校友会の主な事業活動	3
大学支援事業	4
全学支援事業	6
学業奨励金給付事業	6
課外活動支援事業	6
就職支援事業	7
海外派遣制度支援事業	8
留学生修学資金事業	9
愛媛大学開学70周年及び 第10回ホームカミングデイ 合同記念式典・合同祝賀会	10
サークル紹介	12
先輩に学ぶ	14
社会連携事業	18
学部同窓会よりお知らせ	18
国内支部・海外支部	20
子規俳句カレンダー	22
愛媛大学キャンパス 写真ギャラリー	23
令和2年度理事会開催 (書面審議)	24
連携組織	24
事業報告及び事業計画	25
校友会組織、Q&A	26
会員情報登録、 事務局だより	27



2020年1月からの新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、愛媛大学では、学位記授与式や入学式をはじめ各種イベントの中止、すべての学生の登校を禁止し遠隔授業を実施、学生団体・サークル等の課外活動の禁止、教職員の県外への移動の禁止、在宅勤務の実施等、感染リスクを可能な限り回避する措置が取られました。

校友会におきましても、大学のこれらの措置に基づき、2020年9月までの本部及び各支部の事業の開催をすべて中止または延期しました。

- 2月 就職支援事業（大阪） 就活学生との情報交換会（開催中止）
- 3月 就職支援事業（東京） 就活学生との情報交換会（開催中止）  
愛媛大学学位記授与式（開催中止）
- 4月 愛媛大学入学式（開催中止）  
首都圏支部役員会（書面審議）  
近畿支部役員会（書面審議）
- 5月 新社会人交流会「全員集合 in 東京2020」（開催中止）  
新社会人交流会「全員集合 in 大阪2020」（開催中止）  
新社会人交流会「全員集合 in 広島2020」（開催中止）
- 6月 近畿支部総会・懇親会（開催延期）
- 7月 首都圏支部総会・懇親会（開催延期）  
校友会理事会（書面審議）
- 9月 退職教員の会総会（開催中止）

## ■ 愛媛大学緊急支援給付金について

愛媛大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う社会生活の自粛により、仕送りやアルバイト収入が減少し、修学必需品・生活用品の購入や家賃の支払いが困難になるなど、生活が特に厳しくなった学部生や大学院生に対して、大学基金を活用した返済不要の「緊急支援給付金」制度を創設し経済的支援を行いました。

対象者は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、保護者等（学費負担者）及び本人ともに収入減となり、学生生活の維持のため緊急支援が必要であると認められた学生約700人に対して、1人3万円が支給されました。

愛媛大学校友会においても、学長からの支援要請を受けて、同給付金の財源の一部を支援しました。

なお、愛媛大学では、引き続き学生の奨学金を募集していますので、「愛媛大学基金」ホームページをご覧ください、ご支援をよろしくお願いいたします。

### ● 愛媛大学基金：

<http://foundation.office.ehime-u.ac.jp/contents/news/1166.html>

### 未来教育基金「コロナ緊急支援奨学基金」への御支援について (お願い)

常日頃から、本学の教育・研究・医療等に対し、深い御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う社会情勢の変化により、家計支持者の失業・減収や、学生のアルバイトによる収入減など、愛媛県を含め全国各地で、経済的に困窮し、修学の継続が困難になっている学生が増えています。

このような状況を受け、本学では、皆様から心のこもった御芳志『愛媛大学基金（えみか夢基金）』を原資とさせて戴き、愛媛大学独自の学生支援策として、生活に困っている学生に対し『愛媛大学緊急支援給付金』事業を、直ちに、取り組みました。本学において、生活に困っている学生に対し十分な対策を講じ、継続的な支援を行っていく所存です。

今後想定されますコロナ感染症の第2波、第3波の襲来に備えた本学独自の支援策（給付型奨学金の支給を可能とする基金）として愛媛大学基金（特定基金/未来教育基金）の下に『コロナ対応緊急支援奨学基金』を創設しました。

この取り組みを、確実に実施するためには、安定した『財政基盤』や『基金の拡充』が不可欠です。その取組みの一つとして、学内教職員は基より、一般篤志家の皆様及び企業の皆様等へ御支援をお願いさせて戴いているところです。

つきましては、修学に困っている学生に対し、本学の『おもてなしの心』を含め、修学支援することができますよう、愛媛大学基金（未来教育基金/コロナ対応緊急支援奨学基金）へ御支援を賜りたく、御協力戴きますよう、宜しくお願い致します。

国立大学法人 愛媛大学  
学長 大橋 裕一

## ●令和元年度 学位記授与式（令和2年3月24日(火)愛媛県武道館で開催予定）の中止

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により、卒業生・修了生の皆様の大切な節目の行事である令和元年度学位記授与式が中止となりました。

愛媛大学ではささやかな祝意を表す「記念パネル」を各キャンパスに設置するとともに、大橋愛媛大学長のお祝いの言葉、高橋校友会会長の祝辞、卒業生総代の社会共創学部寺田淑乃さんと修了生総代の大学院医学系研究科の平井邦明さんの答辞が大学ウェブサイトで紹介されました。



なお、校友会では卒業生に、卒業記念品として「今治のタオル製品」を贈呈しました。卒業生・修了生の皆様の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

## ●令和2年度 入学式（令和2年4月6日(月)県民文化会館で開催予定）の中止

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により、新入生とご家族の皆様が参加を心待ちにされていた令和2年度入学式が中止となりました。

愛媛大学では、新入生のご入学を心から祝福し、皆様に向けた大橋愛媛大学長のお祝いの言葉、高橋校友会会長の祝辞、学部入学生総代の法文学部の和田真璃海さんと大学院入学生総代の教育学研究科の峰山詩歩さんの宣誓が大学ウェブサイトで披露されました。

高橋校友会会長から愛媛大学校友会の紹介とともに、「皆さんには将来、これらの困難な課題に果敢に挑む人材に成長してもらいたいと、心から願っています。この愛媛大学で、勉学に励み専門性を高めるとともに、高い志と幅広い視野、多様性を理解し受け入れる広い心、そして目標を実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップを身につけてください。これから始まる大学生活が、実り多く充実したものとなりますよう。」との祝辞が送られました。

なお、校友会では入学生に入学記念品として「学修ポートフォリオファイル」と、校友会会員登録記念品として「多機能ペン」を贈呈しました。



校友会会員登録記念品



## 全学支援事業 ▶ 学生用図書を寄贈しています。



学生の学習環境充実のために、大学の図書館（城北地区中央図書館，重信地区医学部分館，樽味地区農学部分館）へ毎年300冊以上の学生用図書を寄贈しています。

- 平成29年度…338冊
  - 平成30年度…333冊
  - 令和元年度…306冊
- ※寄贈本には校友会の印章が押印してあります。

## 学業奨励金給付事業 ▶ 特別奨学金制度を支援しています。

令和2年1月27日(月)に校友会館2階「サロン」において、令和元年度「愛媛大学地域定着促進特別奨学金」交付式を、大橋学長，高橋校友会会長，弓削理事・副学長等の出席のもと行いました。

同交付式では、大橋学長の挨拶後、高橋校友会会長から、今年度の特別奨学金受給者一人ひとりに目録が手渡され、その後、受給者を代表して2名の学生から謝辞があり閉会となりました。

## 課外活動支援事業 ▶ サークル活動を支援しています。

令和2年7月29日(水)に校友会館2階「サロン」で、「学生団体活動援助金」交付式を大橋学長及び高橋校友会会長出席のもと実施しました。

これは、校友会の学生支援事業の一つで、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が前年度における課外活動状況を評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費（総額500万円）を援助するものです。

これにより、学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍及び活性化を促し、また校友会事業を理解していただくことを目的として、平成19年度から実施しています。

交付式では、A評価団体の紹介後、大橋学長から、A評価団体に対する激励と校友会の支援に対する謝辞があり、続いて高橋校友会会長から、体育系全学団体代表者と文化系全学団体代表者のそれぞれに、活動援助金の目録が授与されました。

引き続き、高橋校友会会長から、A評価を受けた団体へのねぎらいと自分自身のサークル活動経験から学んだことや今回の新型コロナウイルス感染症に伴う活動自粛に対する心構えなどについてご挨拶がありました。

その後、体育系及び文化系団体の代表者からの謝辞があり、最後に出

席者全員で記念撮影を行い終了しました。

なお、本年は交付式後に例年実施している校友会会長，学長，担当理事等とA評価団体代表者との懇談会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止しました。

愛媛大学課外活動団体の今後一層の活躍を期待しています。



**【給付対象…評価C以上：給付団体 計50団体  
(体育系30団体，文化系20団体)】**

**【今回のA評価の団体】**

- 体育系6団体…陸上競技部，ダンス部，漕艇部  
チアリーディング部，硬式庭球部，ヨット部
- 文化系4団体…交響楽団，愛大俳句研究会，合唱団  
放送研究会

## ■ 就活ツアー（バス運行、交通費援助）支援 【開催中止】

校友会では、毎年愛媛大学及び各学部後援会と共催で、東京・大阪で開催される合同企業説明会へ参加する在学生のため、近畿については借上バスの運行、首都圏においては交通費の一部支援を行うとともに、卒業生との情報交換会を開催しています。

令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、合同企業説明会の開催が中止されたため情報交換会も中止しました。

現在、令和2年度の校友会就職支援事業について、大学の就職支援課と検討しています。

また、就職支援課では、愛媛大学生のためのコロナ禍を考慮した開催形式「2021 愛媛大学 リアル&リモート企業説明会」の開催を計画しています。

## ■ 関東・関西・中国地方に就職する学生との情報交換会を開催しました

令和元年12月6日(金)の午後、校友会館2階の「ミーティングルーム」において「関東・関西・中国地方に就職する学生との情報交換会」を開催しました。

これは、来春に本学を卒業し関東・関西・中国地方等に就職する学生に対して、働く前に必要な知識やマナー、都会での生活などについて、先輩から直接アドバイスをいただくとともに、同圏内に就職する学生同士の繋がりを作るために開催したもので、今回で2回目となりました。



校友会の事業説明後、現在、東京で活躍されている先輩や就職支援課長から、都会で働くことや卒業までの学生期間の過ごし方、キャリアプランなどについて具体的なアドバイスがありました。

学生からは、あらためて働くことへの意識や社会人としての生活のイメージができた、地域に就職する学生同士で知り合いになれた等の意見があり、有意義な会となりました。



留学する学生のために、渡航費や海外旅行傷害保険等の一部を支援しています。  
また、海外留学生安全対策協議会（JCSOS）のJ-Basic加入料を負担しています。  
この海外留学支援事業により、海外留学した学生の体験記をご紹介します。

## ■法文学部 4年（留学時） 大栗 沙樹

派遣先：大英図書館（英国）

今回、「海外フィールド実践Ⅰ」の授業で、イギリスでのフィールドワークに参加しました。私は国際関係論ゼミに所属しており、世界の移民について研究しています。そこで日本での研究だけでなく現地での調査を行いたいという思いがあったので、このフィールドワークに参加することにしました。ここでは、現地での調査や生活などを紹介させていただきます。

先述の通り、このフィールドワークの研究テーマは「移民」についてです。事前学習で決めたテーマに沿って、主にロンドンの大英図書館で資料収集を行いました。すべて英語で書かれてある資料の中から目的の記事を探し出すのに苦労しましたが、貴重な資料を集めることができました。また、サウスオールという街に行って現地の方のお話を直接聞く機会もあり、質疑応答を通して現地の方の思いを聞くことができよかったです。

次に、イギリスでの生活についてです。私たちはロンドン郊外のパーレーという街の一軒家を貸し切って滞在していました。一緒に参加したメンバーと一緒に食事を準備したり、夜はおしゃべりをしたりなど、シェアハウスを機に仲間との絆を深めることができました。

また、限られた時間の中でたくさん観光もしました。ビッグベンやウエストミンスター寺院など、イギリスの観光名所に行くことができ、大英博物館では古代エジプトの壁画など興味深いものも見ることができました。朝や夜の時間を使って観光をしたので昼の時間を調査の時間に費やすことができ、効率的に調査できたと思います。

イギリスでの滞在は1週間強という短い時間でしたが、1年間を通した事前事後学習も含め、滞在時間以上の大きな学びを得ることができました。このような経験は大学にいる今しかできないことだと思うので、とても大切で貴重な時間でしたし、参加してよかったと思います。



## ■医学部 4年（留学時） 辻本 拓眞

派遣先：モンゴル国立母子センター・モンゴル医科大学（モンゴル）

私は、2019年にハートセービングプロジェクト（モンゴル渡航小児循環器診療）の診療に同行させて頂き、モンゴルでの小児循環器治療の一面を体験することができました。今回のハートセービングプロジェクトの活動では、ウランバートル市内の病院にて子どもの心臓の病気を治療するためにカテーテルを用いた治療を主に行いました。ハートセービングプロジェクトのお話を頂いた当初は、循環器や消化器などの実際の病気の基礎について学んでいる段階であったため、実際の患者さんの病

気や治療についてしっかりと学ぶことができるか不安を抱えておりました。実際に患者さんの診察や治療に立ち会うと、専門的な内容が多く、先生方の診療に付いていくことは大変でしたが、日本では触れることができない所見や症例に接することができたほか、今ある知識を活用していかに目の前にいる患者さんの状態を理解して治療に応用するかを考えることができました。そのため、現在大学で学んでいる内容を実際の医療現場にいかにか有機的に理解していくことが大切であるかを感じ、今後の大学での授業や臨床実習に向けて意識して臨んでいきたいと思いました。

また、現地の患者さんや医療スタッフの方々との交流を通じて、国外の医療体制や文化についても幅広く触れることができました。現地の患者さんやその家族とはモンゴル語での交流となり、非常に緊張しましたが、モンゴル語で挨拶等を行ったときに返事をしていただけただけなのが今でも印象に残っています。また、現地の医療スタッフの方は、モンゴル語と英語を用いてコミュニケーションをとっており、また、治療記録なども英語を用いて記録を行っていることから、今後国内外問わず医療に貢献するためには、英語等の語学力が必要であると強く感じました。

最後に、微力ではありましたが、今回の活動が少しでもモンゴルの方々に還元できるものであることを願っております。





## ■「愛媛の大学と企業が育てる高度外国人材育成プログラム」～オールえひめ構想～

愛媛県では少子化が進む一方で、海外進出企業の増加とそれに伴う「高度外国人材」のニーズが高まっています。本プログラムは、平成29年度文部科学省「留学生就職促進プログラム」に採択（全国12拠点）され、愛媛大学と愛媛県、地域経済団体等が一体となり、世界から愛媛県に留学生を呼び込み、初年次から卒業まで一貫したキャリア教育と就職支援を行うことにより、日本国内、特に愛媛県の企業への就職を促進しています。

愛媛大学校友会は、平成20年度から本プログラムを修了した留学生にお祝い金を送って支援しています。

### ▶プログラムの3つの特徴

Point 1

#### ビジネス日本語教育

- レベルに合わせた授業
- e-learningも活用



Point 2

#### キャリア教育

- 就業力を高める就職準備セミナー
- 企業の課題に取り組むプロジェクト型学習



Point 3

#### インターンシップ

- 日本企業での就労経験
- 報告会で成果発表



### ▶プログラム修了生

**楊 俐娜さん** (2017年度卒)  
就職先：やまと印刷(株)



社会人スキルアップセミナーなどに参加して勉強を重ね、自分を成長させることができました。就職活動においては、履歴書の作成や面接対策等で、いつも先生方からサポートをいただき、不安を抱えて困っていた時も親身になって相談に乗っていただきました。お陰様で就職試験での失敗があっても、あきらめずに挑戦することができました。

社会人になって、授業で学んだことを活かして、日本企業で長く働きたいと思います。

**楊 陽さん** (2017年度卒)  
就職先：三浦工業(株)



このプログラムに参加して、社会人になるためのさまざまな大切なことを学びました。日本語の授業を受けたり、社会人としてのビジネスマナーを勉強したり、インターンシップも夏休みに10日間挑戦しました。BJTビジネス日本語能力テストにも3回挑戦し、日本語力のレベルアップを図りました。このプログラムは、とても充実した素晴らしいもので、私を成長させてくれました。最高の環境を与えていただき、本当にありがとうございました。

本プログラムや高度グローバル人材にご興味のある企業の方は、ぜひ「サポート協力企業」へのご登録をお願いします。

#### 【お問い合わせ先】

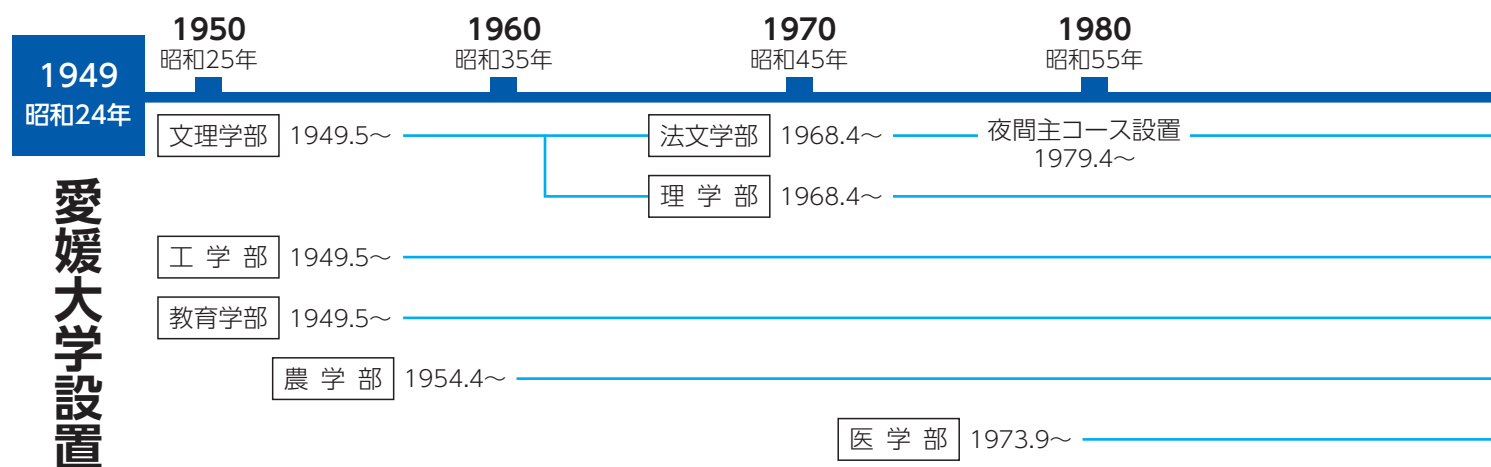
愛媛大学 国際連携推進機構 留学生就職促進プログラム推進室  
Tel : 089-927-8309 E-mail : ryupro@stu.ehime-u.ac.jp

留プロ

検索

## 愛媛大学開学70周年！

1949年(昭和24年)に愛媛大学が設置され、2019年(令和元年)で70周年を迎えました。



## 愛媛大学開学70周年及び第10回ホームカミングデイ 合同記念式典・合同祝賀会を開催しました。

### 【プログラム】

#### ◆合同記念式典 15時開式 (ANAクラウンプラザホテル松山)

- 学長式辞
- 来賓祝辞
- 特別講演 「俳句で育てる心と言葉」  
講師 夏井いつき氏
- スペシャルコンサート  
教育学部附属小学校コーラス部  
教育学部附属中学校コーラス部  
コーラスグループ ダンディーズ
- チアリーディング部パフォーマンス

#### ◆基金感謝状贈呈式

#### ◆合同祝賀会 18時開宴 (松山市内ホテル)



ホームカミングデイは、卒業生の皆様に青春時代を過ごした愛媛松山に、また授業や研究、サークル活動に励んだ懐かしいキャンパスに帰ってもらい、恩師や後輩との交流、教職員、在校生との楽しい時間を過ごしていただくため、平成22年度から、愛媛大学と校友会との共催で学生祭と同時期に実施しており、今回が10回目の開催となりました。

今年は開学70周年との合同記念式典・祝賀会でした。

合同記念式典では、大橋学長から「愛媛の地の拠点」として愛される大学を目指すとの式辞の後、生田文部科学省高等教育局国立大学法人支援課視学官から大臣祝辞の披露、中村愛媛県知事、高橋校友会会長から祝辞がありました。

特別講演では、夏井いつき氏から句会ライブ、おうちde俳句などを通して17音に凝縮される心と言葉についてご講演いただきました。



1990  
平成2年

2000  
平成12年

2010  
平成22年

2019  
令和元年

開学  
70周年

国立大学法人化

2004

ホームカミングデイ開始

2010

社会共創学部 2016.4~



基金感謝状贈呈式では、大学の教育環境整備事業への支援に対して、校友会にも感謝状が贈呈されました。

その後、教育学部附属小学校コーラス部、同中学校コーラス部、大橋学長や高橋校友会会長も所属するダンディーズの合唱、チアリーディング部によるエネルギー溢れるパフォーマンスと70周年のお祝いムードを盛り上げました。

合同祝賀会では、若林広報・70周年事業担当副学長の開会挨拶の後、佐伯愛媛県商工会議所連合会会頭、三木元学長の挨拶の後、お祝いの鏡開きを行い、小松元学長の乾杯により開宴しました。学部長からのメッセージ、記念品や愛大ブランド食品（吟醸イーポーク、スマ（伊予の姫貴海）、えみかビール）の紹介、楽しく賑やかな懇談の中、応援団による大学応援パフォーマンスと学歌斉唱によりお開きとなりました。

ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



### 第11回ホームカミングデイ

令和2年度のホームカミングデイは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

ホームページ上では、次回以降のホームカミングデイの企画・広報に向けて、愛媛大学に関する思い出の写真やメッセージを募集します。同窓会や卒業生の皆様からの応募をお待ちしております。





# チアリーディング部

(2020年8月現在)

顧問 山中 亮 (社会共創学部准教授)

代表 阿部 舞子



## 01 現在の部員数

男子 0名

女子 10名

## 02 活動場所

第3体育館サブアリーナ2

## 03 活動時間

■火・水・金 18:00~21:00

■日祝 9:00~13:00

(現在は上記時間内の1時間半)

## 04 最近の活動内容、実績

JAPAN CUP2019 フライデートーナメント出場  
第31回全日本学生選手権大会 準決勝進出  
週2回ずつ対面とオンラインで活動。  
筋トレや基礎練習を中心に行っている。

## 05 ホームページ・SNS

Twitter @trustars\_

Instagram @trustars\_official223



## 06 アピールポイント

愛媛大学チアリーディング部は、見てくださる皆さんに「元気・勇気・笑顔」そして「感動」を届けられるよう日々の練習に取り組んでいます。部員のほとんどが大学から競技を始めた初心者ですが、OG・OBの皆様、外部コーチなどのサポートもあり、昨年は全日本学生選手権大会（インカレ）で初の準決勝進出を果たすことができました。

私たちはまずはチアリーディングを楽しむことを一番に考えています。演技を楽しんでもらうには私たち自身が楽しまなければ伝わらないし、チアリーディングは楽しいスポーツだと思うからです。演技は、ダンスや形を揃えて踊るモーション、全身を使って跳び開脚するジャンプ、バク転などのタンブリング、組体操のようなアクロバティックなスタンツ・ピラミッドで構成されます。これらには柔軟性・筋力・テクニックが必要で、初めからうまくはできませんが、仲間とアドバイスし合い、技術向上に努めています。一度成功してもまたできなくなって落ち込んだ時も、先輩方や同級生が声をかけてくれたり、たくさん練習に付き合ってくれたお陰でできるようになった技もたくさんあります。その時のチーム全員が応援してくれて、成功したら全員で心の底から喜び合った時は、チアをしていてよかったと思い、とても心に残っています。

現在は地域のイベントや大会が中止・延期になり、先の目標を立てにくい状況ですが、一人ひとりがレベルアップし、チアリーディングをより楽しんでいただけるよう練習に取り組んでいます。

今後とも愛媛大学チアリーディング部へのご支援、ご声援をよろしくお願いします。

(代表 阿部 舞子)





# 愛大俳句研究会

(2020年8月現在)

顧問 中西 淳 (教育学部教授)

代表 近藤 拓弥



## 01 現在の部員数

男子 11名

女子 10名

## 02 活動場所

サークル棟2階 俳句研究会部室

## 03 活動時間

■毎週火曜日 18:30~21:00

## 04 最近の活動内容、実績

zoomを利用した句会の開催  
夏雲システムというアプリを利用したネット句会

## 05 ホームページ・SNS

Twitter @Aidai\_Haiku

Instagram @aidai\_haiku



## 06 アピールポイント

愛大俳句研究会にはとても穏やかで落ち着いた空気が流れています。俳句の話題でコミュニケーションをとるのはもちろんのこと、スポーツの話やゲームの話など様々な話題で盛り上がります。また、回生や大学、組織を問わず交流が盛んであることも特徴のひとつです。組織間での交流の例を挙げると、俳句雑誌の編集者の方々と吟行会を行わせていただく機会もあり、普段の活動では関わることのできない方々との交流の場もあります。

先ほども少し触れた吟行会は俳句研究会の月に一度の特別なイベントです。普段目にしないような風景や歴史的な資料、美術品などを鑑賞して俳句を作ることや日常生活では味わうことのできない非日常な経験を俳句という形で残しておくことができます。また、年に一回遠方に出向いて一泊二日の合宿を行い、その期間すべてを吟行会とし句作するというイベントもあります。普段から共に活動している部員との合宿は普段見ることのない部員の一面を見ることができると仲がより一層深まります。

俳句研究会に所属してよかったと思う点は、他者の考えに対して明確な意見を持つことができるようになったということです。俳句研究会の活動の主は毎週の句会です。そこでは部員たちが作ってきた俳句を披露し、お互いに意見を言い合います。そこで自分がどのような風景や感情を思い描きながらその句を詠んだのか、また、どのような点が自分の考えと作者とで違っていたのかを明らかにし、自分の言葉で説明する必要があります。このようなことが句会をする楽しみでもあり、明確な意見をもてる要因でもあります。

(近藤 拓弥・福浦 竜人)





本学卒業（修了）後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のこと大学のこと（先輩学）をインタビューしています。

## （株）愛媛新聞社 北山 裕貴さん

（2003年3月 法文学部人文学科 卒業）

（取材時：（株）愛媛新聞社 地域読者局販売部 部長）

### ■現在どのような仕事を担当していますか。

愛媛県内には愛媛新聞の販売店が134店（2019年7月1日現在）あり、販売店はそれぞれのエリアを担当し、新聞を配達したり、新しく読者を勧誘したり、集金をしたりしています。私の部署である販売部は、本社の販売方針やキャンペーン内容を各販売店に伝えたり、販売店やお客様の困りごとの相談を受けたり、販売店の経営や営業の補助をしたりしています。



### ■現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

実は愛媛新聞社1社しか受けませんでした。私が就職する頃はいわゆる「就職氷河期」の終わりの頃でした。正直、自分自身はあまり就職に情熱を持ってない時期が続いて、唯一受けてみたいと思ったのが今の会社でした。愛媛新聞は、親がもともと実家でとっていたこともあり、小さい頃から身近であったことが大きい

です。また、地元の人や地域に役立つ仕事って何だろう？と考えたときに、様々な情報発信はもとより、色々なイベントや、講演会、展覧会、コンサートなどを企画したりしていて、唯一面白そうな会社だと思えたからです。

### ■職場の良いところを教えてください。

今の部署は同年代の社員が多く、なんでも話し合えるよい環境だと思えます。真剣に仕事は取り組みますが、冗談を言い合うなど職場の雰囲気はよいと感じています。会社全体としてはやはり、大勢の人が居て膨大な情報が集まってくるところでしょうか。記事で、広告で、インターネットやSNSで、様々なツールを使った情報の届け方をみんなが考えています。営業や販売の面でいうと、愛媛新聞社の名前は県民の間で広く知られているので、スムーズに話が進みやすいという利点もあります。

### ■学生生活の思い出はありますか。

サッカーサークルに入っていて、学生生活のほとんどがその仲間たちとの思い出です。中予の社会人リーグや県外の大会に参加して優勝したり、個人表彰を受けたりすることができました。当時の仲間たちは住んでいる場所も職種もバラバラになりましたが、今でもなんでも話し合える関係です。



学生時の写真  
後列中央 北山さん



学生時の写真

### ■社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

人との関係や感謝の気持ちをいつも大事にしています。世の中のほとんどの仕事はチームプレーです。どんなに優秀な人でも、1人で仕事をこなすことはできないと思います。このことを常に心がけ、一緒に仕事をする仲間にも「このチームで頑張ろう」と声をかけています。目上の人、同僚、後輩関係なく頼る時は頼るし、はっきり言わなければならない時もあるのでもうまくコミュニケー





愛媛県内各地の販売店と連携して、日々新聞を読者の皆様へお届け出来るよう、また、読んでいただける方が増えるよう、毎日工夫しながら働いています。

(令和元年7月取材)

ションをとって、どうやったら仕事を前に進められるか考えています。



### ■就職活動にあたり、大切にしていたことはありますか。

就活では、やってないことをできると言う必要も、やったことを必要以上に大きく言う必要もなく、ありのままの自分を受け入れてもらえたらいいという気持ちで臨むのが良いです。無理に取り繕って、特別な自分を作ってしまうと、就職してから自分が大変になってしまう気がします。等身大の自分をいいねと言ってくれる会社に入るのが1番です。それと、色々なことに興味を持ち続けられる人は、社会人になってからもとても魅力的に映ります。

### ■愛大生にメッセージをお願いします。

まず、新聞をもっと読んで欲しい。就活では新聞社も受けて欲しいです(笑)。

また、色々なことに興味を持って、

今のうちにたくさんチャレンジしてください。その経験は、社会人になってから絶対に役に立ちます。そして、時間は大切に！



### ■インタビューを終えて (学生インタビューアの感想)

#### 【深井】

新聞社といえば、記者のイメージが強いと思います。北山さんに記者の経験はないそうですが、話していてコミュニケーション能力の高さを強く感じました。お聞きしたところ、記事を書くには「書く力」よりも「聞く力」の方が大切とのこと。そのため新聞社は、コミュニケーション能力に自信がある人にも、逆に自信がない人にも、おすすめの職場だと感じました。仕事を通してコミュニケーション能力が磨かれること間違いなしだからです。就活で新聞社を受けるのも、面白いかもしれません。

#### 【石井】

北山さんの仕事の内容や仕事で嬉しかったことについて、生き生きと楽しそうにお話しして下さる様子が印象的でした。自分の仕事についてこのように話せるのは、とても憧れます。北山さんがおっしゃったように様々なことに興味を持ち、経験し、ありのままの自分で毎日生き生きと楽しく働ける場所を見つけたいです。

#### 【安松】

取材に行く前は、新聞社に対してすごくきっちりしていて、厳しい職場というようなイメージを持っていました。しかし、実際は全然そんなことはなくて、働いている皆さんが温かく、とてもよい雰囲気だったので、私もこんなところで働きたいなと思いました。また北山さんは、どんな仕事をするにも大事なことはチームプレーだ、とおっしゃっていたことが特に印象に残っています。そのため私は、大学生のうちから色々な人とコミュニケーションをとって、どんな人とも協力して物事を成し遂げられるような人になりたいです。

ご多忙のところ、丁寧にインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございました。

## 愛媛県立みなら特別支援学校

## 藤井 実季さん

(2016年3月 教育学部特別支援教育教員養成課程発達障害コース 卒業)

(取材時：みなら特別支援学校 教員)

## 岸田 直也さん

(2014年3月 教育学研究科特別支援教育専攻特別支援学校教育専修 修了)

(取材時：みなら特別支援学校 教員)

## ■現在どのような仕事を担当していますか。

〈藤井さん〉 小学部3年生の学級担任をしています。昼間は授業をしたり、児童と一緒に給食を食べたり、休み時間には遊んだりと子どもと一緒に過ごします。同じ学級を一緒に担当している先生と協力しながら働いています。授業・宿題などの準備は朝や放課後の時間を使っています。他にも成績処理や文書の作成、図書情報課の仕事として図書室の本の管理を担当しています。

〈岸田さん〉 私は小学部5年生の担任をしています。教材研究が好きなので、朝と放課後は教材の準備に時間を割いて色々な教材を作っています。子どもが学校にいる間は一緒に勉強したり、遊んだり、給食を食べたりしています。最初は覚えるのが大変でしたが、最近は慣れてきました。



藤井さん

## ■現在の仕事を選んだ理由・きっかけは何ですか。

〈藤井さん〉 小さい子と関わることはもともと好きでした。中学生の時、授業で地域の保育園で幼児と遊ぶ機会があったのですが、そこで初めて

上手く関われない子と出会いました。「その子となぜ遊べなかったのだろう」とずっと思いつつ、それでも子どもが好きだったので、高校生の時も学童保育や幼児とのキャンプなどボランティアに行っていました。そこでも自分や周囲と上手く関われない子がいました。「そういう子たちと遊びたいな」と思っている時に、愛媛大学の吉松靖文先生が高校で講演をしてくださって、特別支援の世界に興味をもったのがきっかけです。特別支援の勉強をするために大学に入って、教員を目指しました。

〈岸田さん〉 私も高校の頃から漠然と特別支援学校の教員っていいなという思いがありました。中高と通っていた学習塾で発達障害のお子さんに関わる機会があって、彼らのすごく純粋で、まっすぐなところに心惹かれて、もっと関わってみたいなと思ったのがきっかけです。高校の時、愛媛大学に特別支援を学べるコースがあることを知って目指しました。教育実習で小学校に行ったとき「いいな」と少し気持ちがぶれましたが、特別支援の実習を経験したら、やっぱり特別支援が合っているなと思いました。考えるのが楽しくて、有意義な実習でしたね。

## ■子どもに関わる時に、気を付けていること、大切にしていることは何ですか。

〈藤井さん〉 健康観察ですね。くまや傷があっても、自分から言えない子が多いので気を付けています。

〈岸田さん〉 言葉をかける時や板書は出来るだけ簡潔に分かりやすく伝える、というのを心掛けています。

その他に、常に手本であるよう、言葉遣いに気を付けています。子どもたちにタメ口を使ってしまった時は言い直すようにしています。

## ■休日の過ごし方を教えてください。

〈藤井さん〉 月曜日から、また楽しく授業ができるように土日はしっかりとリフレッシュしています。でも、自分に必要な物を買った百円ショップで、教材になりそうな物を買っちゃうことは多いです。色々吟味するので、百円ショップに行くとな長くなります(笑)。

〈岸田さん〉 土日は思い切り楽しんでいきますよ。そのために仕事は学校で全部片づけるようにしています。平日は6時半前には学校に来て、誰もいない時間に仕事を終わらせるようにしています。放課後、遅くまで残らなくていいですね。



岸田さん

## ■職場のPRをお願いします。

〈藤井さん〉 小学部、中学部、高等部、訪問教育があって学級・子どもの人数が多いところがこの学校の良いところです。子ども同士の関わりは広がりますし、授業を作る時もち



日々工夫をこらしながら、  
子どもたちの健やかな成長を  
支えています。

(平成31年4月取材)

くさんの先生で考えられるので、いろんな意見を聞きながら作っていくことができます。

### ■学生時代に経験したことで役立っていることはありますか。

〈藤井さん〉 週1, 月1ペースで発達障害の子たちに向けた活動をゼミでしてきたことはとても今の授業などに繋がっていると思います。見通しを持てるようにスケジュールを作ることや、子どもたちに必要なことなど、様々なことを大学の先生に教わったことは自分の基礎になりました。大学生の間に関わった子どもたちから色々なことを教えてもらって、経験値として積みあがってきたものがあるとも思います。

〈岸田さん〉 私も月1で発達障害の子を集めて社会性を磨くような学習を考えて、大学の先生にみていただく、というような活動をしていました。保護者の方も詳しい方が多くて、ご指導いただいて、より良いものにしていきました。その時に記録したノートは今も見返しますし、とても役に立っています。また、私は学部生の時バンドをやっていたので、子どもと一緒にギターを弾くことや、学習発表会用の音源を自分で作ったり編集することができます。仕事をしていて、音楽をやってきてよかったと思うことが多々あります。

### ■愛大生へメッセージをお願いします。

〈藤井さん〉 大学はいろんな人やたくさんの情報が集まってくる場所ですので、それをフル活用して欲しいと思います。「子どもが好きだな

という思いを持つだけで、色々なことを紹介してくださる先生や友達もいて、よい4年間だったなと思えました。大学で色々なものや人に出会って、勉強したらいいのではないのでしょうか。

〈岸田さん〉 好きなことを極めるのがいいと思います。私はバンドをずっと続けています。メンバーが忙しくて最近は集まられていませんが、ずっとやっているのでも続けたいです。仕事に繋がるとは思っていないけど、いつのまにか武器になっていたりするので、好きなこと、興味のあることは片っ端から取り組んで欲しいですね。あと、勉強はしっかりしてください。大学の研究室の先生は私にとって恩師ですので、皆さんにも先生との関わりを大切にしたいと思っています。

### ■インタビューを終えて (学生インタビューアの感想)

#### 【井町】

仕事内容や日々の生活について伺う中で、先生、それも特別支援学校の先生というのは決して誰もができる仕事ではないな、と感じました。一人一人の子どもと向き合い、子どもたちの成長のためにできる限りを尽くされている先輩方の「先生」としての姿に感動かされました。学生の中には教職を目指す方も多いと思いますが、どんな子どもに対しても愛情を注げることが、先生に必要な力の一つであると思いました。

#### 【石井】

私は優柔不断です。それは、自分の将来の夢に対してもそうです。ドラマを見ては変わり、ドキュメンタリーを見ては変わり、講演会でお話を聞いては変わりを繰り返してきて、未だに将来の夢がきちんとは決まっています。今回お世話になった藤井さんと岸田さんは、中・高校生の頃から自分の明確な夢を持ち、大学時代も様々な活動に参加しながらその夢を深め、現在本当になりたかったものになられています。それは本当に素敵で素晴らしいことで難しいことだと思います。岸田さんがおっしゃっていた好きを極める、ということ、藤井さんがおっしゃっていた色々なものや人に出会って勉強する、ということをお忘れず、なりたいた自分を見つけていきたいと思っています。

#### 【安松】

二人の先輩方から直接お話を聞く中で、毎日子ども達に真摯に向き合っていることがすごく伝わりました。お二人は大学生のうちに、好きなことを極める、色々なものや人に出会って学ぶといったことが大切、とおっしゃっていました。私はまだどのような職業に就きたいか明確に決まってないので先輩方のように、この職業以外考えられない、と思えるようなものに出会いたいと思いました。

ご多忙のところ、丁寧にインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございました。



## ■「特定非営利活動法人 愛媛大学校友会人材活用センター」の活動

校友会会員（主に退職教員）で構成された「特定非営利活動法人愛媛大学校友会人材活用センター」は、県内の各自治体や教育機関に人材を提供するとともに、広く一般市民向けに学術、文化、芸術、保健等に関する公開講座、講演会等を開催するなど、社会教育の推進と地域の活性化に貢献しています。

ホームページ <http://koyu.ehime-u.jp/koyu/npo/>

## ■令和元年12月～令和2年2月 公開講座を開催しました。

### ■「くらしと言語」 12月14日(土)開催

- ・「愛媛を歩く言葉の旅」

愛媛大学名誉教授

愛媛大学法文学部特命教授 清水 史

- ・「愛媛ゆかりの俳句、文学を味わう」

愛媛大学教育学部准教授 青木 亮人

### ■「くらしと健康」 2月15日(土)開催

- ・「フレイルを知っていますか？～健康寿命のために知っておきたいこと～」

愛媛大学大学院医学系研究科抗加齢医学教授

医学部附属病院抗加齢予防医療センター長 伊賀瀬道也

- ・「身体活動と健康」

愛媛大学社会共創学部准教授

山本 直史



※3月にも公開講座を予定しておりましたが、開催延期となりました。

## ■令和元年11月9日 「講演会と演奏会」を開催しました。

- 講演会 「夢をあきらめない！」

元オリンピック選手

佐伯 美香

- 演奏会 曲目：潮騒のメモリー、宝島 他

愛媛大学吹奏楽団



## ■社会共創学部同窓会だより 2020年4月発行

社会共創学部は2016年の学部再編の際に、地域に根付いた学部として新設された学部です。学科は「産業マネジメント学科」「産業イノベーション学科」「環境デザイン学科」「地域資源マネジメント学科」の4つに分かれており、文系・理系に囚われず社会の様々なことに問題意識を持ちながら、地域の方々と共に課題を解決したり、新しい何かを生み出したりできる人材が育つようなカリキュラムになっています。

今年度はそんな社会共創学部からの初の卒業生が出た年となり、それに合わせて社会共創学部同窓会も発足する運びとなりました。現在、社会共創学部同窓会として様々なことを行っていきたいと考えている所ではありますが、コロナ禍の影響もあり実現することが難しい状況にあります。コロナ禍も治まった近い将来に、会員の皆さんに還元できるような何かを行っていきたくて考えております。また何かしらのご案内も掲載いたしますので、これから社会共創学部同窓会をよろしく願います！

社会共創学部同窓会 会長 宮崎 渥

## ■法文学部同窓会だより

会員数：22,640名（2020年4月現在）

支部：東京章光会（関東）、にきたつ会（関西）、広島（中国）支部、四国支部

主な活動：総会・理事会、会報発行（年1回）、会員名簿発行・管理、同窓会提供講座、学部学生支援 など

沿革：1959 文理学部同窓会創立  
1979 法文学部同窓会に改組

法文学部同窓会の正式名称は「愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会」で、文理学部時代を合わせて昨年（2019年）、創立60周年を迎えました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、各支部総会やお花見などが延期になっています。そんな中でも同窓会報と同窓会提供講座は、例年通り発行・開催されました。会報が届いていないという方は、お送りできるように手配しますので、事務局にご連絡ください。



### (法文学部同窓会事務局)

〒790-8577 松山市文京町3番 法文学部内  
TEL. 090-1002-6376  
HP : <https://ehime-u-houbun-dousokai.com/>  
E-mail : [support@ehime-u-houbun-dousokai.com](mailto:support@ehime-u-houbun-dousokai.com)

## ■教育学部同窓会だより

愛媛大学教育学部 同窓会

教育学部同窓会では、教育学部に関する行事や情報、また県内外の会員から送られてくる情報等を紹介した同窓会報を7月と2月の年2回発行し、約8,000人あまりの会員・準会員にお届けしております。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため予定していた多くの事業の中止を余儀なくされ、会員の皆様にお知らせする情報が載せられない事態に陥っています。いつもと若干違った会報になるかと思いますが、教育学部の会報をぜひ読んでみたいと思われる方は、下記までご連絡ください。

さらに、教育学部同窓会では隔年ごとに、全会員を対象とした「教育学部同窓会懇親会」を開催し、多くの会員が恩師や仲間と旧交を温めています。今年は8月に「第17回教育学部同窓会懇親会」を計画し、ぎりぎりまで開催を検討いたしましたが、新型コロナウイルスの感染終息の見通しが立たないため会員の皆様の健康及び安全を第一と考へ中止といたしました。ご理解の程お願いいたします。

次回は2022年（令和4年）8月に「第18回教育学部同窓会懇親会」として開催を予定しています。詳細は令和4年2月発行の同窓会会報（133号）と一緒にお届けするチラシでお知らせいたします。

教育学部同窓会に関するお問い合わせや会員の皆様の寄稿につきましては事務局までお願いいたします。

また、スマホ・デジカメ等で撮影した写真を募集しています。地域の名所の写真や桜・雪景色等々メールアドレスにお送りください。お待ちしております。

### (愛媛大学教育学部同窓会)

〒790-8577 松山市文京町3番 教育学部事務課内  
TEL. 089-927-9383（月・水・金の午前中）  
E-mail : [dosokai@ed.ehime-u.ac.jp](mailto:dosokai@ed.ehime-u.ac.jp)

## ■工学部同窓会（工業会）だより

工業会（愛媛大学工学部同窓会）は昨年80周年を迎え、今春には会員数がついに2万5千人を超えました。全国に、東京、東海、近畿、岡山、広島、高松、高知、愛媛の8つの支部があり、毎年各地で支部総会が開催されているのですが、今年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という未曾有の災禍に見舞われて、同窓会活動、支部活動ともに先の見えない状況になっております。

この状況下において例年通りの活動は難しいのですが、リモート会議を開催し、今年度の事業について、名簿の管理や会誌の発行、大学への支援、先生や学生の方々の海外研修や講演会、学生活動、卒業時等の補助金支給など可能な形で事業を進めております。

また、各支部においては、コロナ禍での安全な支部総会の開催の可能性を模索しており、工業会本部はその支援はもとより、Facebook等SNSを用いて会員への積極的な情報発信にも取り組んで参ります。

今年度は、80年の時を経て工業会の新しい活動の方向付けとなる年になるよう、そして、本来の活動精神の根幹となる「会員相互の親睦と人格の向上を図る」という目的に沿った「事業運営」、「支部活動」、「大学運営への参画」を積極的に進めて参りますので、会員のみならず、どうぞ、工業会事業にご参加ください。

### (愛媛大学工業会事務局)

〒790-8577 松山市文京町3番 工学部内  
TEL. 089-927-9702  
HP : <http://www.eu-kogyokai.jp/>  
E-mail : [kogyokai@ee.ehime-u.ac.jp](mailto:kogyokai@ee.ehime-u.ac.jp)



工業会  
公式サイト  
QRコード

## ■首都圏支部だより

※首都圏支部の事務局としておりました「サテライトオフィス東京」は、愛媛大学の関東地区における拠点として、本学の学生・卒業生・教職員の皆様にご利用いただいております。昨今の新型コロナウイルス感染拡大を受け、現地に常駐職員がいない中で、安全にご利用いただくための感染防止対策が困難な状況であることから、本年12月末をもって閉鎖することといたしました。

### ●令和2年3月

就活ツアー（東京コース）参加学生との情報交換会を開催予定でしたが、開催を中止しました。マイナビ主催の合同企業説明会が開催中止になり、それに伴い本会の情報交換会も中止いたしました。学生はオンラインでの会社説明会や、面接等を駆使しての就職活動になります。

### ●令和2年5月

新社会人交流事業「全員集合2020 in 東京」を開催予定でしたが、開催を中止しました。今後の状況を踏まえて、再検討いたします。

### ●令和2年7月

第7回定時総会・懇親会を開催予定でしたが、開催を延期しました。令和2年4月の首都圏支部役員会は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面審議で実施しました。その際、7月に章光会、工業会、農学部同窓会ユウカリ会東京支部との合同開催を予定していた第7回定時総会・懇親会については、コロナ禍において一旦開催を延期し、今後の開催時期を再検討することとなりました。

## ■近畿支部だより

### ●令和2年3月

就活ツアー（大阪コース）参加学生との情報交換会を開催予定でしたが、開催を中止しました。マイナビ主催の合同企業説明会が開催中止になり、それに伴い本会の情報交換会も中止いたしました。学生はオンラインでの会社説明会や、面接等を駆使しての就職活動になります。

### ●令和2年5月

新社会人交流事業「全員集合2020 in 大阪」を開催予定でしたが、開催を中止しました。

### ●令和2年6月

第5回定時総会・懇親会を開催予定でしたが、開催を延期しました。令和2年4月の近畿支部役員会は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面審議で実施しました。その際、6月開催を予定していた第5回定時総会・懇親会については、コロナ禍において一旦開催を延期し、今後の開催時期を再検討することとなりました。

## ■海外支部の設置状況

	支 部	設立年月	支 部 長
1	ベトナム支部	2006年 9月	Le Thi-Hai Le 〈リ ハイレ〉
2	中国支部	2006年11月	蔡 英春 CAI, Yingchun 〈サイ エイシュン〉 東北林業大学
3	ネパール支部	2007年 4月	Yogesh Hari Shrestha 〈ヨゲシュ〉
4	マレーシア支部	2007年11月	Iswadi Bin Jauhari 〈イスワディ〉
5	インドネシア支部	2013年12月	Herry Suhardiyanto 〈ヘリー〉 ボゴール農業大学
6	バングラデシュ支部	2014年12月	Nur Ahamed Khondaker





## ■ 中国支部だより

### ● 令和元年9月28日(土)

中国支部講演会・懇親会を開催しました。

令和元年9月28日(土)15時から広島市南区の「TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前」において講演会・懇親会を開催しました。



講演会は、曾我部中国支部副支部長の司会進行により、岡田支部長の開会挨拶後、胡光（えべす ひかる）愛媛大学法文学部教授・四国遍路・世界の巡礼センター長による「四国遍路と世界遺産」と題して行われ、中国地区に在住する会員など70人が出席しました。

2015年のNew York Timesでは、世界の訪れるべき場所として、日本で唯一「四国遍路」が選ばれました。「ロストジャパン」古き良き日本がそこにはあると思われています。1200年もの間、人々を四国へと誘ってきた四国遍路の歴史について、最新研究や世界遺産化への取組とともに、癒しを求めのお遍路さんや四国文化、四国の魅力についても紹介がありました。弘法大師信仰、巡回型巡礼、庶民文化（お接待・道標・茶堂など）に代表される四国遍路の普遍的価値を共有する講演会となりました。



### ● 令和2年5月

新社会人交流事業「全員集合2020 in 広島」を初開催予定でしたが、開催を中止しました。

### ● 令和2年11月

第2回定時総会・懇親会を開催予定でしたが、開催を延期しました。

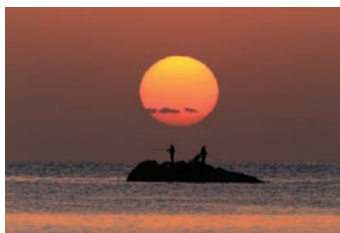
令和2年9月の中国支部役員会は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面審議で実施しました。その際、11月開催を予定していた第2回定時総会・懇親会については、コロナ禍において一旦開催を延期し、今後の開催時期を再検討することとなりました。

校友会では、愛媛大学長が選句された郷土松山が誇る俳人正岡子規の俳句と大学職員が撮影した愛媛県内の四季折々の写真を載せた、『子規俳句カレンダー』を毎年作成しています。

表面は写真とスケジュールを、裏面はハガキ様式に改訂しました。俳句の英訳も記載していますので、このカレンダーを通して国内外の皆様と愛媛大学校友会や子規との出会いの機会になれば幸いです。

## ■子規俳句カレンダー2021

1月 空近くあまりまばゆき初日かな  
朝日（高知県久礼）



2月 巡礼の杓に汲みたる椿かな  
道後温泉 飛鳥乃湯泉「椿の間」



3月 大仏のうつらうつらと春日かな  
高昌寺涅槃像（内子町）



4月 蝶々や順禮の子のおくれがち  
黄色い丘（双海町）



5月 二村の凧集まりし河原かな  
いかざき大凧合戦（内子町）



6月 五月雨に御幸を拝む晴間哉  
愛媛大学と御幸寺山



7月 夏山の骨ともみゆる巖かな  
石鎚山鎖場



8月 草枕の我にこぼれよ夏の星  
星空（五段高原）



9月 秋の空露をためたる青さかな  
わらマンモス（西予市）



10月 汽車の窓折々映る紅葉哉  
紅葉（面河溪）



11月 鳩眠る屋根や小春の大師堂  
竹林寺（高知県）



12月 初雪や小鳥のつゝく石燈籠  
ルリビタキ



### 【会員限定プレゼント】

## ■子規俳句カレンダー2021

愛媛大学校友会〔2021年版子規俳句カレンダー〕を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月初めに校友会ホームページにてご案内いたします。先着200人（予定）としておりますのでお早めにご応募ください。





過去の卒業アルバムなどから、大学キャンパスの写真を抜き出してみました。



昭和30年代 本部



昭和30年代 図書館



昭和58年頃 学生祭



昭和58年頃 農学部



昭和58年頃 理学部



昭和58年頃 工学部



平成3年頃 法文学部



平成6年頃 サークル部室



平成21年頃 医学部



令和元年 正門



令和2年 ミューズ中庭



令和2年 教育学部



令和2年度の校友会理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面審議とさせていただきました。事前に少人数の総務・企画専門委員会を開催し、各議題について確認した後、理事の皆様へ資料を送付しご審議いただいた結果、全議題について承認をいただきました。

## ●理事会(書面審議)

### 議題

1. 愛媛大学校友会総務・企画専門委員会要項(案)の制定について
2. 愛媛大学「生活困窮学生への緊急支援給付金」について
3. 令和元年度の事業報告(案)及び収支決算(案)について
4. 令和2年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について
5. 校友会役員の変更(案)について

### 報告事項

- (1) 校友会首都圏支部、近畿支部及び中国支部事業の開催中止・延期について
- (2) 愛媛大学ホームカミングデイについて
- (3) 愛媛大学サテライトオフィス東京の閉鎖について

## ■校友会役員紹介 令和元年度～令和3年度(令和2年7月～)

(敬称略:50音順)

役職	氏名	現職	役職	氏名	現職	役職	氏名	現職
会長	高橋 祐二	三浦工業(株)取締役会長、工業会(工学部同窓会)	理事	青野 宏通	工業会(工学部同窓会)、大学院理工学研究科(工)教授	理事	羽藤 直人	大学院医学系研究科教授、医学部同窓会
副会長(常任理事)	武田 壽	工業会(工学部同窓会)	理事	明石 教生	社会共創学部後援会会長	理事	濱田 桂子	退職職員会監事
副会長(常任理事)	野村 靖記	法文学部同窓会、元(株)伊予銀行常務、【総務企画担当】	理事	阿部 修一	教育学部同窓会	理事	濱邊 弘美	医学部学務課長
常任理事	井上 雅裕	大学院理工学研究科(理)教授	理事	泉 紀江	工学部事務課長	理事	林 和男	退職教員の会理事
常任理事	大谷 勲	理学部同窓会	理事	宇野 英満	医学部後援会会長	理事	藤井 晶子	医学部看護学科同窓会
常任理事	柿木 一高	工業会(工学部同窓会)会長	理事	岡田 禎之	校友会中国支部支部長、法文学部同窓会	理事	山内 孔	教育学部後援会会長
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長	理事	岡本 正明	校友会近畿支部支部長、法文学部同窓会	理事	横田 裕一	農学部事務課長
常任理事	立入 哉	教育学部教授	理事	垣原登志子	農学部同窓会(コーカリ会)	理事	吉田 一恵	退職職員会理事
常任理事	西田 和真	法文学部同窓会会長	理事	加藤 明浩	法文学部同窓会会長	理事	渡部 雅泰	法文学部同窓会副会長
常任理事	仁科 弘重	理事・副学長、大学院農学研究科教授	理事	絹谷 政江	退職教員の会理事	監事	武岡 英隆	南予水産研究センター長、特命教授
常任理事	西村 勝志	副学長、社会共創学部教授、【総務企画担当】	理事	木下 尚樹	農学部後援会会長	監事	山村 滋	退職職員会会長
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会会長、常任理事会議長、【総務企画・会計担当】	理事	近藤 理	教育学生支援部長	幹事	阿部 晋	教育学部同窓会
常任理事	羽藤 堅治	大学院農学研究科教授	理事	塩出 和久	法文学部事務課長	幹事	池内 直之	工業会(工学部同窓会)
常任理事	平岡 耕一	大学院理工学研究科(工)教授	理事	清水 栄治	校友会首都圏支部支部長、法文学部同窓会	幹事	石田也寸志	医学部同窓会
常任理事	藤田 英之	総務部総務課長、【会計担当】	理事	菅田 顕	教育学部同窓会	幹事	上谷 浩一	農学部同窓会(コーカリ会)、大学院農学研究科准教授
常任理事	松本 長彦	法文学部教授、法文学部同窓会副会長	理事	鈴木 裕子	理学部事務課長	幹事	久保 泰敏	法文学部同窓会
常任理事	三木 伸司	農学部同窓会(コーカリ会)会長	理事	仙波 文彦	財務部財務企画課長	幹事	都築 伸二	大学院理工学研究科(工)教授、工業会(工学部同窓会)
常任理事	水口 和壽	退職教員の会副会長、社会共創学部特命教授	理事	武田 和義	退職職員会副会長	幹事	野本 美佳	医学部看護学科同窓会、医学系研究科看護学専攻基盤・実践看護学助教
常任理事	宮崎 渥	社会共創学部同窓会会長	理事	兒玉 直子	国際連携推進課長	幹事	配川 幸一	農学部同窓会(コーカリ会)、農学部技術室技術員
常任理事	村瀬 光春	退職職員会副会長	理事	谷 弘幸	大学院理工学研究科(理)准教授、理学部同窓会	幹事	山下 雅司	教育学部同窓会
常任理事	薬師神芳洋	大学院医学系研究科教授、医学部同窓会会長	理事	千葉 昇	理学部同窓会	幹事	渡邊 政富	工業会(工学部同窓会)
常任理事	矢野 紘	工業会(工学部同窓会)、【総務企画担当】	理事	鳥生 勉蔵	法文学部同窓会事務局長	顧問	大橋 裕一	愛媛大学長
常任理事	山本 智規	社会共創学部准教授	理事	仲田 利通	工学部後援会会長	相談役	森本 惇	前校友会会長
			理事	仲田 秀雄	理学部同窓会会長	参与	鮎川 恭三	元愛媛大学長
			理事	中本 剛	理学部後援会会長、教育学部准教授			
			理事	VERGIN・RUTH	国際連携推進機構特命教授			

### 〈退職教員の会〉

本年度は、総会開催を予定しておりましたが、開催中止となりました。

### 〈退職職員会〉

本年度は、総会開催を予定しておりましたが、開催中止となりました。

令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画

区分	事業名	令和元年度事業報告	令和2年度事業計画
会員交流事業	会員ネットワーク事業	校友会の活動状況等を校友会会員に広く情報発信するため、校友会報（第5号）を発刊した。	校友会の活動状況や大学の近況等を校友会会員に広く情報発信するため、「校友会報」第6号を発刊する。
		県内企業等で働く先輩を訪問し、大学生生活や就職活動等について取材した記事「先輩に学ぶ」を校友会ホームページ等に紹介し、会員相互のネットワークの拡大や、在学生の就職活動に対する支援を行った。	県内企業等で働く先輩を訪問し、在学時の学生生活や就職活動等について取材した記事を校友会ホームページ等で紹介し、会員間のネットワークの拡大や在学生の就活の一助とする。
		首都圏や近畿圏で働き始めた新社会人を、当該地の先輩とともに歓迎する新社会人交流事業を実施した。	首都圏、近畿圏で働き始めた新社会人を、当該地の先輩が応援するとともに校友会ネットワークの拡充を図る。
	支部事業	国内の支部及び海外の支部に関する事業への支援を行った。	国内3支部、海外6支部が行う事業活動を支援する。
	NPO法人校友会人材活用センター活動支援	NPO法人愛媛大学校友会人材活用センター主催による公開講座（2回）及び講演会・演奏会（1回）を開催した。	NPO法人校友会人材活用センターが行う講演会及び公開講座の開催を支援する。
	就職支援事業	合同企業説明会に参加する就職活動学生に対して、交通費の一部補助（東京コース）や貸し切りバスの借上げ（大阪コース）を行うとともに、当該地の先輩との情報交換会を開催し側面から就職活動を支援する。	東京、大阪で開催される合同企業説明会に参加する就職活動学生に対し、大阪コースはバス借上げ、東京コースは交通費の一部補助を行うとともに、当該地の先輩との情報交換会を開催し就職活動を支援する。
	修学資金支援貸与援助	新規貸与者なし。督促6人	貸与者に対し返還業務の円滑な処理を行う。
	新入生及び卒業生記念品事業	新入生に対し入学記念品及び「学修ポートフォリオファイル」を配布した。卒業生に対しては卒業記念品「今治タオル製品」を贈るとともに卒業後の情報登録を推進した。	新入生及び卒業生に記念品を贈り校友会活動の広報等に役立てる。
ホームカミングデイ事業	愛媛大学との共催により愛媛大学開学70周年記念式典及び第10回ホームカミングデイを開催した。	愛媛大学と共催で、第11回ホームカミングデイを実施する。	
大学支援事業	生活困窮学生緊急支援金給付事業		新型コロナウイルスの感染拡大で生活が困窮することになった学生への「緊急支援給付金」事業に対する資金援助をする。
	学生用図書整備事業	令和元年度愛媛大学図書館資料収集方針に基づき、学生用図書を選書し大学に寄付した。	全学的に開催する事業への支援及び資金援助を行う。
	海外派遣制度支援事業	交流協定校への派遣補助及び国際連携推進機構が企画した海外派遣プログラムに参加する学生に対して、渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行った。	交流協定校及び国際連携推進機構が企画する短期海外派遣プログラム参加者に対する渡航費等の一部補助や保険料等の一部補助を行う。
	留学生修学資金支援事業	グローバル人材留学生や成績優秀な私費留学生に対する修学資金の援助を行った。また、アイネックスの特別会員として側面からも支援を行っている。	成績優秀者かつ経済的困窮留学生、グローバル人材育成プログラム生へ奨学金を支給する。
	学業奨励金給付事業	愛媛県内に就職した学生に対して「地域定着促進特別奨学金」を給付し、地域の人材育成及び活性化を支援した。	県内就職率向上と地域の活性化を図ることに繋げるため、愛媛大学が行う「地域定着促進特別奨学金」制度に対して資金援助を行う。
	学生募集活動支援事業	入試担当教職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行った。	入試担当職員の進学説明会等への参加に対し、旅費の資金援助を行う。
	課外活動支援事業	愛媛大学学生団体課外活動評価基準により、前年度の課外活動状況を段階別に評価された結果に基づき、優秀な団体に対して支援を行った。	愛媛大学が定めた評価基準に基づき、学生の課外活動団体の令和元年度における課外活動状況を評価し、課外活動経費を支援する。 全国大会に出場するサークルに交通費等の一部を支援する。
英語プロフェッショナル養成コース支援事業	学生の高度で実践的な英語運用能力の養成と資格取得のため、カレッジTOEIC等受験に伴う補助を行った。	学生の高度で実践的な英語運用能力の養成と資格取得のためのカレッジTOEIC等受験の補助を行う。	
携社会連	カレンダー共同作成事業	「子規プロジェクト」の協力を得て作成した子規俳句カレンダーを、校友会会員・大学関係教職員・国内外における各種事業の際に配布し、校友会や愛媛大学はもとより俳部松山の広報や情報発信に役立てた。	「子規プロジェクト」と共同で俳句カレンダーを作成し、国内外に対して校友会及び愛媛大学の広報に役立てる。
	会議等運営	定時総会、理事会、常任理事会を開催した。	理事会、総務・企画専門委員会を開催する。
管理運営等	各種印刷物	校友会の組織や事業活動等を広く周知し理解と協力を得るため、校友会インフォメーションを改訂し新入生全員に配布した。また、本部・支部等で行う各種事業の際にも配布し、校友会の事業活動報告や会員間の情報交換のツールとして役立てた。	校友会の組織や事業活動等を広く周知し理解と協力を得るため、校友会インフォメーション等を発行し新入生等に配布する。また、校友会の本部・支部等が行う各種事業の際にも配布し、校友会の事業活動の報告や会員間の情報交換のツールとして提供する。

令和元年度決算及び令和2年度予算

(収入) (単位：千円)

科目	元年度決算額	2年度予算額	差引増▲減額	備考
	A	B	B-A	
会員会費	37,940	38,260	320	学部・大学院・退職教職員等入会者
受取利息	1	15	14	預金利息
寄附金			0	
返還金（修学資金支援貸与金）	0	607	607	
雑収入				
当期収入合計	37,941	38,882	941	
前期繰越収支差額	20,946	14,953	▲ 5,993	
収入総合計①	58,887	53,835	▲ 5,052	

(支出) (単位：千円)

1事業	(1) 会員交流事業	11,234	14,690	3,456	会員ネットワーク事業、支部設立等事業、人材バンク事業、社会活動支援及び相談事業、ホームカミングデイ支援事業、新入生・卒業生記念品事業
	(2) 大学支援事業	15,043	17,050	2,007	学生図書の購入、海外派遣制度支援事業、留学生修学資金支援事業、学業奨励金給付事業、学生募集活動支援事業、課外活動支援事業、英語プロフェッショナル養成コース支援事業
	(3) 社会連携事業	964	1,200	236	講演会等開催事業、地域連携支援事業、カレンダー共同作成事業
2管理運営	(1) 管理費等	6,693	6,450	▲ 243	
	(2) 予備費	0	2,000	2,000	
当期支出合計		33,934	41,390	7,456	
積立金（特別経理へ）		10,000	5,000	▲ 5,000	
支出総合計②		43,934	46,390	2,456	
次期繰越収支差額（①-②）		14,953	7,445	▲ 7,508	

## ●校友会組織



連携支援

※正会員の資格は、校友会設立時（平成16年3月20日）以前と以後とで異なります。

## 会議

総会  
理事会  
常任理事会

## 役員

会長(理事)  
副会長(理事)  
顧問  
相談役  
参与  
理事  
監事  
幹事

## 事務

事務局

## 支部等

国内支部  
海外支部

## 愛媛大学校友会

正会員	校友会設立前	卒業生 (同窓会会員)	校友会設立（平成16年3月20日）以前から次の同窓会会員である者 旧制松山高等学校同窓会、法文学部同窓会、教育学部同窓会 理学同窓会、医学部同窓会、医学部看護学科同窓会、 工学部同窓会（工業会）、農学部同窓会（ユーカー会）
		退職教員の会会員 退職職員会会員	校友会設立（平成16年3月20日）以前から 退職教員の会会員、又は退職職員会会員である者
	校友会設立後	卒業生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者
		後援会会員	各学部後援会会員（準会員が在学中の期間のみ正会員となります） 法文学部後援会、教育学部後援会、理学部後援会 医学部後援会、工学部後援会、農学部後援会 社会共創学部後援会
		大学教職員 (退職者を含む)	校友会設立（平成16年3月20日）以降に入会した者 (退職後も正会員となります)
	準会員	在学生	在学中に校友会に入会した者（卒業後は正会員になります）
賛助会員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体		

## ●校友会Q&amp;A

## ■校友会の目的は？

愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交と交流を図ることを目的に設立された団体です。現在、会員は12万人を超えています。

## ■校友会の会費は？

校友会設立（平成16年3月20日）以前から各同窓会会員の卒業生は、校友会設立時に校友会の正会員としておりますので、校友会会費（終身会費2万円）を納めていただく必要はありません。

また、校友会設立以降に入学した方は、入学時に校友会会費（終身会費2万円）を納めていただいておりますので、在学中は準会員に、卒業（退学）後は自動的に正会員（終身会員）となります。

## ■各学部同窓会と校友会とのちがいは？

愛媛大学の同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、各学部同窓会会員、後援会員、退職・現職教職員及び在学生（準会員）も含まれる点で大きく異なります。

## ■学生（準会員）へはどんな支援をしているの？

学生へは大きく分けて「入学生支援」「教育支援」「課外活動支援」「学業奨励金給付事業」「海外留学支援」「留学生支援」「就職活動支援」「卒業生支援」等を行っています。

最近では、入学生には「学修ポートフォリオファイル」及び「入学記念品」を、卒業生には卒業記念品として「今治のタオル製品」を贈呈しました。詳しくはP5をご参照ください。

## ■卒業後はどんな活動に参加できるの？

総会（3年に1回開催）にぜひ参加してください。また、会員間の交流事業として「ホームカミングデイ」、「新社会人歓迎会（全員集合 in 東京、大阪、広島）」、「就活学生との情報交換会」、「講演会」、「公開講座」、「演奏会」等に参加いただけます。

## ■会員情報登録とは？

愛媛大学校友会会員であっても住所、メールアドレスなどの情報を校友会に登録していただかないと、校友会から愛媛大学及び校友会の近況やイベント情報をお知らせすることが出来ません。大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくため、ぜひ右頁の「会員情報登録のご案内」により会員情報登録（無料）をお願いします。まだ登録されていない方、卒業等により連絡先を変更された場合にも、変更登録をお願いします。

なお、新規に登録された方には校友会から記念品を進呈いたします。



## ■ 会員情報登録のご案内 ※登録は無料です。

### ① WEBからの登録

<http://koyu.ehime-u.jp/koyu/entry.html> にアクセスして登録ください。

### ② ハガキ，FAXで登録

ハガキ，または紙に下記の必要事項を記入し，送ってください。

#### ●は必須項目です

- 氏名：( )  
旧姓( )
- 性別： 男 女
- 生年月日： 昭和・平成 年 月 日生 ( 歳)
- 住所： 〒 -
- 電話(携帯)番号 ( )
- メールアドレス ( )
- 区分：  
卒業生 大学教職員 退職教員 退職職員 後援会員
- 
- ※卒業生のみ下記もご記入をお願いします。
- 卒業学部・学科・卒業年  
( ) 学部・研究科  
( ) 学科・専攻  
昭和・平成・令和 年 月卒業・修了



QRコード

## 新規登録特典

「校友会オリジナルグッズ」を進呈



トートバッグ  
など

(在庫等の状況により  
変わります)

※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。  
※なお、ご登録いただきました情報に関しましては、愛媛大学校友会が厳重に管理し、校友会からのご連絡のみに使用し、他の目的に使用したり、第三者に提供することはありません。

### 〈お問い合わせ・送付先〉

愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階

TEL：089-927-8610/FAX：089-927-8609

## ■ 事務局だより

### ★原稿を募集しています。

校友会ホームページ  
リニューアルしました!

校友会では、ホームページや会報に掲載する原稿を募集しています。

在学時・在職時の愛媛大学の思い出を、写真等(当時のキャンパス・愛媛県内の風景など)ございましたら添えて、メール又は郵送で投稿してください。

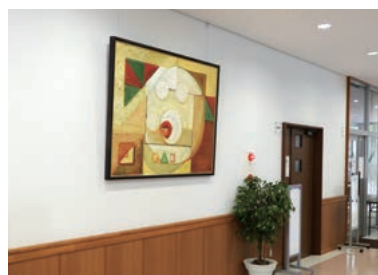
また、会報に関して、大学関係で掲載して欲しい事、見たい場所等ございましたらお気軽にご連絡ください。

可能な限り取材して掲載したいと思えます。校友会事務局は少人数での運営のため、行き届かない点はどうぞご容赦いただきますよう、お願いいたします。

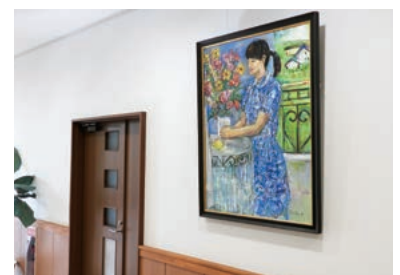
校友会館に絵画の寄贈がありましたのでご紹介します。



校友会館外観



寄贈：森一哉 様



寄贈：廣田玲子 様

